

2020年10月8日

関係各位

射水ケーブルネットワーク株式会社

マンホール水位の可視化に向け大学と共同研究開発

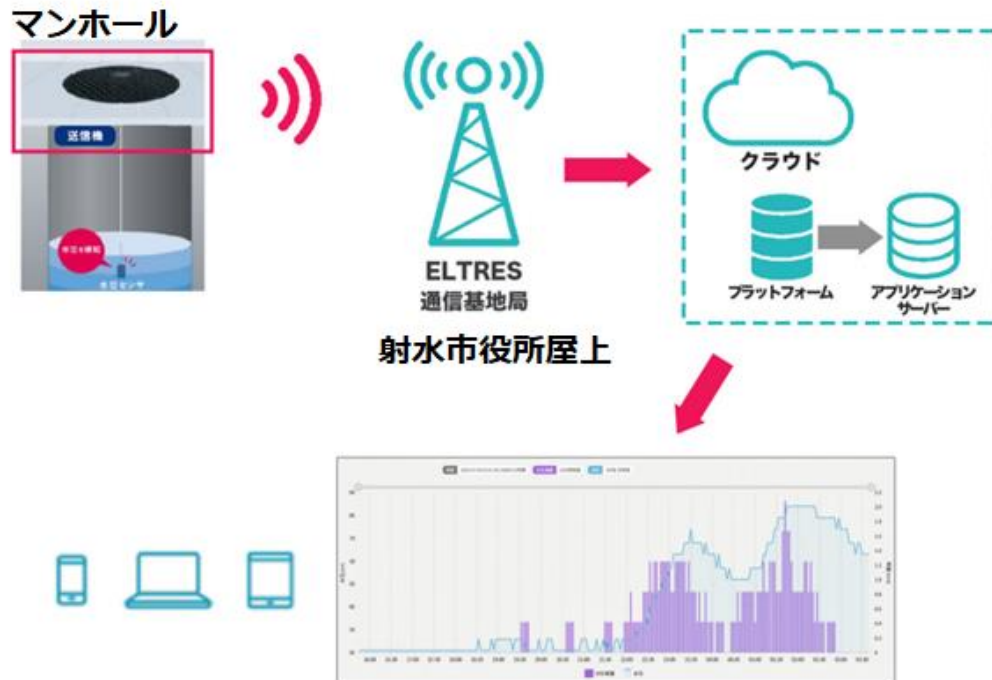
射水ケーブルネットワーク株式会社（本社：富山県射水市 代表取締役社長 牛塚松男
以下、iCN）は富山県立大学の石坂圭吾教授（電波工学）の研究グループと環境計測システム設計・製造のフィールドプロ（東京）と連携しマンホール内の水位の変動をリアルタイムで把握する通信システムを共同で開発を行う。水位の異常を可視化することで、集中豪雨による浸水や洪水をピンポイントで予測し射水市の防災に役立てたい。今冬に市内の2箇所を実証実験を始め、来秋の実用化を目指します。

マンホールの上にはアンテナを建てる事が出来ず、金属製のふたが電波を減衰させるので、マンホールの下に設置したセンサーの情報を地上に送信することはコスト面からも現実的に困難だった。

このため、研究グループはアンテナとマンホールのふたの一体化や、ふたの素材の変更などを検討。実証実験では実用化に向けて有効なふたの素材やアンテナの形状等を探る。

iCNでは、これまで射水市と「ELTRES-LPWA」（ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社）を使って積雪や雨量計測の実証実験を行っている。今回のマンホール下に設置したセンサーからのデータ送信にも「ELTRES-LPWA」を利用する。

今回の共同研究の概要(イメージ)



お問い合わせ



射水ケーブルネットワーク株式会社

〒934-0011

富山県射水市本町2丁目10番30号

電話 0766-82-7320 FAX 0766-82-7923

事業本部 営業企画部長 渡辺